冦 ライオン

日本の日用品

ロックに再生加工し、地

| 枠を超えて取り組んでいく。 | 取り組むことを決定した。フィルム容器のリサイクルに企業の | 型社会の実現に向けて、フィルム容器のリサイクルに協働して | 型社会の実現に向けて、フィルム容器のリサイクルに協働して IJ サ イクリエーション活動

の協

働

を開

口 2

状況だ。 均質なプラスチックとな 多種類の成分からなる不 え用製品は、全製品出荷 8年のつめかえ・つけか り、リサイクルが困難な るため、リサイクル材が 主に使われているフィル 量の8%となっている。 量を大幅に削減。 201 を進めてきた。濃縮化に より、プラスチック使用 え用製品の開発・普及に ラスチック使用量の削減 90年代から包装容器プ ム素材が複合材料からな 一方、つめかえ容器は、 よる製品容器のコンパク 化、つめかえ・つけか をはじめとする 市場では、両社 てられている。 ことを目的とする「ハブ ラム」を通じて、消費者 口の健康維持へ貢献する 促すことで消費者の歯と 域の人々の暮らしに役立 る取り組みを推進してい 木鉢などにリサイクルす 回収・リサイクルし、植 から使用済みハブラシを ラシ・リサイクルプログ 定期的なハブラシ交換を 循環型社会への貢献と、 型モデルの実証を開始 ライオンにおいても、 90年代より製 花王は、19

イクルを、規模を拡大し

ム容器やハブラシのリサ

に入れて進めている。

しかしながら、フィル

枠を超えて取り組む。

する意識の高まりを念頭

現を目指し、フィルム容

器のリサイクルに企業の

クル材料・容器の設計」 共通利用が可能なリサイ 間・業界の垣根を越えて

がら、フィルム容器から

ーション活動を継続しな

再度フィルム容器に再生

する水平リサイクルを目

「共同で回収・再生した

指

フィルム容器リサ

て継続していくためには

となる仕組みの構築とリ

るためには、回収の基盤

法の検討」「リサイクル リサイクル材料の活用方

イクルの社会実装を進め

に対する消費者の理解・

る。

リサイクルを加速させ

クルする実証実験を、消 これまでゴミにしかなら 目的に消費者と協力し、 費者のプラスチックに対 スチックを回収・リサイ なかった使用済みのプラ ラスチックの資源循環を このように両社は、プ 製品に再生する場合に多 特につめかえ製品のフィ 材をフィルム容器などの くの制約がある。 なり、そのリサイクル素 スチック素材や設計が異 よって使用しているプラ め単一成分のみの分離が ルム容器は複合素材のた さまざまな課題があり、 難しいうえ、メーカーに いは資源循環型社会の実 そこで、花王とライオ

携によるフィルム容器の 費者、行政、流通との連 いくことも必要だ。 しやすさに配慮し、 分別回収のしくみの検 もに社会の意識を変えて 分別など、消費者を含め 後のプラスチック容器の サイクル技術の開発が不 用や消費者の分別回収の 討」「幅広い製品への利 たステークホルダーとと 可欠で、同時に製品使用 その具体策として、「消 企業 5 協力してフィルム容器の れらの活動を通じて、 啓発活動」を進める。 協力を深める普及促進・ 器リサイクルの技術的課 働を開始し、フィルム容 サイクリエーションの協 済性の改善に取り組んで 収・リサイクル全体の経 題を共有化する。 分別回収と啓発を行うリ 将来は、リサイクリエ まずは、地域の人々と

■イクルに向けた資源循環型モデル事業」に取り組んでいく。■参加企業・団体とともに、「ワンウェイプラスチックの水平:■用に向けた新たなビジネスモデル」公募の事業者に採択され、・ 花王はこのほど、東京都による「プラスチックの持続可能 イクルに向けた資源循環型モデル事業」に取り組んでいく。参加企業・団体とともに、「ワンウェイプラスチックの水平リサ開に向けた新たなビジネスモデル」公募の事業者に採択された。開び上はこのほど、東京都による「プラスチックの持続可能な利用 ギー回収、単純焼却、埋 外輸出の制限後は、「そ め立て、海外輸出など、 用にとどまっている。 いわゆる「ワンウェイプ 状で、その多くはエネル いう観点からも「その他 状況はひっ迫しており、 の他プラ」の国内の処理 チック受入規制による海 不可欠となっている。 海洋プラスチック対策と ラスチック」としての利 プラ」の国内資源循環は 特に、中国の廃プラス 版印刷、国内資源循環 業で循環型製品の積極 循環」に取り組む。 リサイクルに向けた資源 持続可能な社会をつく によるモニター評価を エコミラ江東、生活者 〇法人地球船クラブ 製品開発を行っている凸 活用を計画しているヴ る元気ネット、通販事 実施するNPO法人 ンジニアリングとNP に取り組む市川環境エ 多分野にて環境配慮型 容器 ①環境に配慮した設計 単一素材(モノマテリアル)のつめかえ用 フィルム、再生プラスチックを活用した ボトル容器など、包装容器の製造 水平 リサイクル 指す。 品の開発とともに、使用 を構築し、社会実装を目 めた資源循環型システム 済み包装容器の回収を含 容器といった具体的な製 また、 現在江東区にお ②**トイレタリー商品の製造** ハンドソープなど 衛生製品の充填 <u>annii</u> ③直接配送/配布 みを適用していく。

チックを活用したボトル されていることから、今 ことで、純度の高いプラ 東区にある施設エコミラ 個別回収され、東京都江 回のモデル事業で回収す スチックペレットに加工 江東で異物除去等を行う 品用ポリスチレン容器が いて、住民が洗浄した食 る使用済み包装容器のペ レット化には、この仕組

④公共施設での使用 がる新たなソリューショ クの本質的な解決のため 指す」とコメントしてい ンとして、日本から世界 源循環社会の実現につな 組みづくりが必要だ。資 の企業が参加しやすい仕 へ発信していくことを目 ェーンに関わるより多く には、製品のバリューチ 「ワンウェイプラスチッ 括の長谷部住宏専務は、 花王 研究開発部門統

2と名

りブロッ 「おかえ 用済みの などの使 ャンプー 洗剤やシ

いる。具体的な取り組

スタイルの提案を進めて 新しいシステム・ライフ

で資源循環

みの1つとして、地域の

回収した

Soft]

イプラスチック

きた。一方で、

減に取り組んで ック使用量の削 容器のプラスチ 及により、包装 製品の開発と普

器を含む飲料用

ペットボトル以

スチック包装容 このようなプラ 人々から

1882 F

通じて、循環型社会への サイクリエーション」を

え・つけかえ用 クト化、つめか る容器のコンパ 品の濃縮化によ

これまで花王では、「リ

容器を、 フィルム

ラスチック(そ 外の「その他プ

包装容器は、リ の他プラン」の

サイクルが進ん

最小限に抑えた「ワンウ 活用し、廃棄物の発生を

や、剥離が容易なタッ かえ用フィルム容器

クラベル、再生プラス

成のために、資源を有効

持続可能な社会の形

ーカーの花王が主体とな

リューチェーンと、業

ィアックスからなるバ

界の枠を超えて連携。

単一素材でできたつめ

そこで今回、日用品メ

ェイプラスチックの水平

でいないのが現